

届出

[平成 21 年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

熊本学園大学社会福祉学部第一部ライフ・ウェルネス学科 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 熊本学園
平成 21 年 5 月 1 日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画室

職名・氏名 企画室長 シモダ タカユキ 下田 高幸

電話番号 096-364-5161

（夜間） 096-364-5161

F A X 096-363-1289

e - m a i l kikaku@kumagaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況，経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 熊本学園

(2) 大学名

熊本学園大学

(3) 大学の位置

〒862-8680

熊本県熊本市大江二丁目5番1号

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(キタコガ カツユキ) 北古賀 勝幸 (平成4年12月)		
学長	(サカモト タダシ) 坂本 正 (平成14年8月)		
学部長	(ナカノ ハジメ) 中野 元 (平成18年1月)		
学科長	(コイズミ ナオキ) 小泉 尚樹 (平成21年4月)		

(注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科 学士(社会福祉学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 80人	() 人	() 人	() 人	0.98倍	
志願者数	(-) 93	()	()	()		
受験者数	(-) 87	()	()	()		
合格者数	(-) 86	()	()	()		
B 入学者数	(-) 79	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.98	()	()	()		

- (注) 1 () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1年次	[-] 79	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[-] 79	[]	[]	[]	

- (注) 1 [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成 21 年度	計 [0] 0	(累積) 計 [0] 79	[0 %] 0 %
	うち平成 21 年度入学者 0 人	うち平成 21 年度 79 人	
(主な退学理由)			
平成 22 年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成 21 年度入学者 人	うち平成 21 年度 人	
	うち平成 22 年度入学者 人	うち平成 22 年度 人	
(主な退学理由)			
平成 23 年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成 21 年度入学者 人	うち平成 21 年度 人	
	うち平成 22 年度入学者 人	うち平成 22 年度 人	
	うち平成 23 年度入学者 人	うち平成 23 年度 人	
(主な退学理由)			
平成 24 年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成 21 年度入学者 人	うち平成 21 年度 人	
	うち平成 22 年度入学者 人	うち平成 22 年度 人	
	うち平成 23 年度入学者 人	うち平成 23 年度 人	
	うち平成 24 年度入学者 人	うち平成 24 年度 人	
(主な退学理由)			

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下
- ・学力不足
- ・他の教育機関への入学・転学
- ・海外留学
- ・就職
- ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情
- ・除籍
- ・その他

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
A (第一) 群 ライフ・ ウェル ネス 専門 科目	地域福祉論Ⅱ	2・3・4後		2							
	高齢者福祉論Ⅰ	2・3・4後		2							
	障害児・者福祉論Ⅰ	2・3・4後		2							
	公的扶助論	2・3・4後		2							
	健康体力づくり論	2・3・4前		2		1					
	スポーツ心理学	2・3・4前		2		1					
	運動処方	2・3・4後		2		1					
	測定評価	2・3・4後		2							
	ソーシャルワーク方法論Ⅲ	3・4前		2							
	ソーシャルワーク方法論Ⅳ	3・4後		2							
	社会保障論Ⅰ	3・4前		2							
	社会保障論Ⅱ	3・4後		2							
	高齢者福祉論Ⅱ	3・4前		2							
	障害児・者福祉論Ⅱ	3・4前		2							
	医療福祉論	3・4後		2							
	福祉行財政論	3・4前		2							
	福祉管理運営論	3・4後		2							
	司法福祉論	3・4前		2							
	権利擁護と成年後見制度	3・4後		2							
	就労支援論	3・4前		2							
水俣学	3・4後		2								
救急処置と運動負荷試験	3・4後		2								
栄養学	3・4後		2								
学校保健	3・4前		2								
精神保健学Ⅰ	3・4後		2								
精神保健学Ⅱ	3・4前		2								
A (第二) 群 ライフ・ ウェル ネス 関連 科目	社会学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	社会学概論Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	ボランティア論	1・2・3・4後		2							
	レクリエーション概論	1・2・3・4前		2				1			
	経済学Ⅰ	1・2・3・4前		2		1					
	経済学Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	法学	1・2・3・4後		2							
	日本国憲法	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更(21)
	発達心理学	1・2・3・4前		2							
	統計学	1・2・3・4後		2							
	手話Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	手話Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	点字Ⅰ	1・2・3・4前		2							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
A (第二)群 ライフ・ウェルネス 関連科目	ソーシャル・ウェルフェア 系科目群	点字Ⅱ	1・2・3・4後	2								
		情報処理入門	1・2・3・4前	2								
		日本社会福祉史Ⅰ	2・3・4前	2								
		日本社会福祉史Ⅱ	2・3・4後	2								
		憲法Ⅰ（統治論）	2・3・4前	2								
		憲法Ⅱ（人権論）	2・3・4後	2								
		民法Ⅰ	2・3・4前	2								
		民法Ⅱ	2・3・4後	2								
		家族と法	2・3・4前	2								
		障害者と法	2・3・4後	2								
		芸術療法入門	2・3・4前	2								
		ハンセン病講義	2・3・4後	2								
		経済原論Ⅰ	2・3・4前	2			1					
		経済原論Ⅱ	2・3・4後	2			1					
		手話Ⅲ	2・3・4前	2								
		手話Ⅳ	2・3・4後	2								
		外書講読Ⅰ	2・3・4前	2			1					
		外書講読Ⅱ	2・3・4後	2			1					
		社会政策Ⅰ	3・4前	2								
		社会政策Ⅱ	3・4後	2								
		現代の福祉国家	3・4後	2								
		市民と政治	3・4後	2								
		現代行政論	3・4後	2								
		家族援助論	3・4前	2								
		社会福祉法制Ⅰ	3・4前	2								
		社会福祉法制Ⅱ	3・4後	2								
		リハビリテーション論	3・4前	2								
		家族社会学Ⅰ	3・4前	2								
		家族社会学Ⅱ	3・4後	2								
		国際福祉論	3・4前	2								
地域づくりとバリアフリー	3・4前	2										
外書講読Ⅲ	3・4前	2			1							
外書講読Ⅳ	3・4後	2			1							
日本事情特講	3・4後	2										
ウェルネス・リソース 系科目群	スポーツ指導法実習（水泳）	1・2・3・4集	1			2 +	1	1			履修者増加が予想されるため、担当 教員を追加（21） 担当：宮林達也（教授） 加藤健一（准教授）	
		武道指導法実習（柔道）Ⅰ	1・2・3・4前	1			1					
		武道指導法実習（柔道）Ⅱ	1・2・3・4後	1			1					
		スポーツ指導法実習（ダンス）Ⅰ	1・2・3・4前	1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
B・C 群等科目	B・C 群科目	言語と文化Ⅰ	2・3・4前		2							
		言語と文化Ⅱ	2・3・4後		2							
		日本史概論Ⅰ	2・3・4前		2							
		日本史概論Ⅱ	2・3・4後		2							
		西洋史概論Ⅰ	2・3・4前		2							
		西洋史概論Ⅱ	2・3・4後		2							
		環境論ⅠA（自然環境）	2・3・4前		2		1					
		環境論ⅠB（自然環境）	2・3・4後		2		1					
		自然科学と人間ⅢA（生物学）	2・3・4前		2		1					
		自然科学と人間ⅢB（生物学）	2・3・4後		2		1					
		倫理学概論Ⅰ	3・4前		2							
		倫理学概論Ⅱ	3・4後		2							
		現代教育論Ⅰ	3・4前		2							
		現代教育論Ⅱ	3・4後		2							
		文化人類学Ⅰ	3・4前		2							
		文化人類学Ⅱ	3・4後		2							
		政治学Ⅰ	3・4前		2		1					
		政治学Ⅱ	3・4後		2		1					
		情報メディア論Ⅰ	3・4前		2							
		情報メディア論Ⅱ	3・4後		2							
地域社会学Ⅰ	3・4前		2									
地域社会学Ⅱ	3・4後		2									
環境論ⅡA（環境と人間社会）	3・4前		2									
環境論ⅡB（環境と人間社会）	3・4後		2									
外国語科目	英語ⅠA	1・2・3・4前		1								
	英語ⅠB	1・2・3・4後		1								
	英語ⅡA	1・2・3・4前		1								
	英語ⅡB	1・2・3・4後		1								
	ドイツ語ⅠA	1・2・3・4前		1								
	ドイツ語ⅠB	1・2・3・4後		1								
	ドイツ語ⅡA	1・2・3・4前		1								
	ドイツ語ⅡB	1・2・3・4後		1								
	フランス語ⅠA	1・2・3・4前		1								
	フランス語ⅠB	1・2・3・4後		1								
	フランス語ⅡA	1・2・3・4前		1								
	フランス語ⅡB	1・2・3・4後		1								
	中国語ⅠA	1・2・3・4前		1								
	中国語ⅠB	1・2・3・4後		1								
	中国語ⅡA	1・2・3・4前		1								
	中国語ⅡB	1・2・3・4後		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
B・C 群等科目	外国語科目	ロシア語ⅠA	1・2・3・4前	1							
		ロシア語ⅠB	1・2・3・4後	1							
		ロシア語ⅡA	1・2・3・4前	1							
		ロシア語ⅡB	1・2・3・4後	1							
		スペイン語ⅠA	1・2・3・4前	1							
		スペイン語ⅠB	1・2・3・4後	1							
		スペイン語ⅡA	1・2・3・4前	1							
		スペイン語ⅡB	1・2・3・4後	1							
		韓国語ⅠA	1・2・3・4前	1							
		韓国語ⅠB	1・2・3・4後	1							
		韓国語ⅡA	1・2・3・4前	1							
		韓国語ⅡB	1・2・3・4後	1							
		英語ⅢA	2・3・4前	1							
		英語ⅢB	2・3・4後	1							
		英語ⅣA	2・3・4前	1							
		英語ⅣB	2・3・4後	1							
		ドイツ語ⅢA	2・3・4前	1							
		ドイツ語ⅢB	2・3・4後	1							
		ドイツ語ⅣA	2・3・4前	1							
		ドイツ語ⅣB	2・3・4後	1							
		フランス語ⅢA	2・3・4前	1							
		フランス語ⅢB	2・3・4後	1							
		フランス語ⅣA	2・3・4前	1							
		フランス語ⅣB	2・3・4後	1							
		中国語ⅢA	2・3・4前	1							
		中国語ⅢB	2・3・4後	1							
		中国語ⅣA	2・3・4前	1							
		中国語ⅣB	2・3・4後	1							
		ロシア語ⅢA	2・3・4前	1							
		ロシア語ⅢB	2・3・4後	1							
		ロシア語ⅣA	2・3・4前	1							
		ロシア語ⅣB	2・3・4後	1							
		スペイン語ⅢA	2・3・4前	1							
		スペイン語ⅢB	2・3・4後	1							
		スペイン語ⅣA	2・3・4前	1							
		スペイン語ⅣB	2・3・4後	1							
		韓国語ⅢA	2・3・4前	1							
		韓国語ⅢB	2・3・4後	1							
		韓国語ⅣA	2・3・4前	1							
		韓国語ⅣB	2・3・4後	1							

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
B・C 群等 科目	保健 体育	健康科学A（講義）	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前		2		2	1	1			他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を追加（21）
		健康科学BⅠ（実技）	1・2・3・4前		1		2	1	1			
		健康科学BⅡ（実技）	1・2・3・4後		1		2	1	1			
留 学 生 対 象 科 目	日本語ⅠA	1・2・3・4前		1								他学部とのカリキュラム統一のため、 開講時期を変更（21）
	日本語ⅠB	1・2・3・4前 1・2・3・4後		1								
	日本語ⅡA	1・2・3・4前		1								
	日本語ⅡB	1・2・3・4後		1								
	日本語ⅢA	2・3・4前		1								
	日本語ⅢB	2・3・4後		1								
	日本語ⅣA	2・3・4前		1								
	日本語ⅣB	2・3・4後		1								
	日本事情ⅠA	1・2・3・4前		2								
	日本事情ⅠB	1・2・3・4後		2		1						
	日本事情ⅡA	1・2・3・4前		2								
	日本事情ⅡB	1・2・3・4後		2		1						
	日本事情ⅢA	1・2・3・4前		2								
	日本事情ⅢB	1・2・3・4後		2								

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 239	科目 0	科目 250	科目 11 [0]	科目 239 [0]	科目 0 [0]	科目 250 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{250} = 0$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	49,395.14㎡	0㎡	0㎡	49,395.14㎡			
	運動場用地	147,789.13㎡	0㎡	0㎡	147,789.13㎡			
	小 計	197,184.27㎡	0㎡	0㎡	197,184.27㎡			
	そ の 他	9,106.14㎡	0㎡	0㎡	9,106.14㎡			
	合 計	206,290.41㎡	0㎡	0㎡	206,290.41㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	65,391.79㎡ (65,391.79㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	65,391.79㎡ (65,391.79㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	68室	97室	7室	15室 (補助職員57人)	6室 (補助職員2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科			10室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科	105,363 [19,996]	125 [40]	0 [0]	385	0	0	
	計	105,363 [19,996]	125 [40]	0 [0]	385	0	0	
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	9,631.11㎡	897		1,000,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	6,370.7㎡	テニスコート10面、野球場2面、弓道場、アーチェリー場など						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,057千円	1,057千円	図書購入費	－千円	2,000千円	2,000千円
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,014千円	794千円	794千円	794千円	－千円	－千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) 1 届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
 2 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	熊本学園大学								備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
商学部第一部 商学科	4	220	—	880	学士(商学)	1.25 1.29	昭和29年度	熊本県熊本市 大江二丁目 5番1号	
経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.24	昭和59年度		
ホスピタリティ・マネジメント学科	4	80	—	320	学士(経営学)	1.21	平成17年度		
商学部第二部 商学科	4	—	—	—	学士(商学)	—	昭和29年度		平成19年度より 学生募集停止
経済学部 経済学科	4	200	—	800	学士(経済学)	1.25 1.29	昭和42年度		
国際経済学科	4	100	—	460	学士(国際経済学)	1.17	平成2年度		平成21年度定員減 120→100(△20)
リーガルエコノミクス学科	4	80	—	320	学士(経済学)	1.26	平成18年度		
外国語学部 英米学科	4	115	—	460	学士(文学)	1.13 1.18	平成6年度		
東アジア学科	4	50	—	230	学士(文学)	1.03	平成6年度		平成21年度定員減 60→50(△10)
社会福祉学部第一部 社会福祉学科	4	80	—	380	学士(社会福祉学)	1.13 1.15	平成6年度		平成21年度定員減 100→80(△20)
福祉環境学科	4	80	—	380	学士(福祉環境学)	1.07	平成12年度		平成21年度定員減 100→80(△20)
子ども家庭福祉学科	4	80	—	320	学士(社会福祉学)	1.24	平成18年度		
ライフ・ウェルネス学科	4	80	—	80	学士(社会福祉学)	0.98	平成21年度		
社会福祉学部第二部 社会福祉学科	4	80	—	380	学士(社会福祉学)	0.54 0.54	平成6年度		平成21年度定員減 100→80(△20)

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小泉尚樹	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 倫理とライフ・ウェルネス 外書講読Ⅲ 哲学概論Ⅰ 哲学概論Ⅱ 日本事情ⅠB						
専	教授	宮林達也	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス 生理学(運動生理学を含む) 健康体づくり論 運動処方 アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習 (ソフトボール) ｽｽﾞｰ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習 (キャンプ) 健康体づくり実習 ウェルネス・インターンシップ 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)					ｽｽﾞｰ指導法実習(水泳)	履修者増加が予想されるため、担当科目を追加 (21)
専	教授	北井和利	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アスリートとウェルネス 運動学(運動方法学を含む) ｽｽﾞｰ指導法実習(水泳) 武道指導法実習(柔道)Ⅰ 武道指導法実習(柔道)Ⅱ ｽｽﾞｰ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習 (キャンプ) ウェルネス・インターンシップ 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	豊田直二	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 解剖学 外書講読Ⅱ 環境論ⅠA(自然環境) 環境論ⅠB(自然環境) 自然科学と人間ⅠA(生物学) 自然科学と人間ⅢB(生物学)						
専	教授	中野元	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 日本経済とライフ・ウェルネス 経済学Ⅰ 経済原論Ⅰ 経済原論Ⅱ 外書講読Ⅰ						
専	教授	田中節男	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ 外書講読Ⅳ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 日本事情ⅡB						
専	教授	橋本公雄	平成24年4月	ライフ・ウェルネス演習Ⅰ ウェルネス・プロモーション論Ⅰ ウェルネス・プロモーション論Ⅱ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ スポーツ心理学						
兼任	講師	橋本公雄	平成22年4月	スポーツ心理学						
専	准教授	加藤健一	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アスリートとウェルネス アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習 (バスケットボール) スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)					スポーツ指導法実習(水泳)	履修者増加が予想されるため、担当科目を追加(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	今吉光弘	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ						
専	講師	井上弘人	平成21年4月	基礎演習 ライフ・ウェルネス入門※ ライフ・ウェルネス特講※ スポーツ・ウェルネス論 ライフ・ウェルネス演習Ⅰ 卒業論文 ライフ・ウェルネス演習Ⅱ ライフ・ウェルネス演習Ⅲ アダプティッド・スポーツ論 アスリートとウェルネス レクリエーション概論 スポーツ指導法実習(水泳) アダプティッド・スポーツ実技 スポーツ指導法実習(スキー) レクリエーション指導法実習A レクリエーション指導法実習B 野外活動指導法実習(キャンプ) 高齢者スポーツ指導法実習 健康科学A(講義) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
兼任	教授	宮北隆志	平成21年4月	ライフ・ウェルネス入門※ 生活環境論 地域づくりとバリアフリー 環境論ⅡA(環境と人間社会) 環境論ⅡB(環境と人間社会)						
兼任	教授	豊田謙二	平成21年4月	社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ						
兼任	教授	下地明友	平成22年4月	ライフ・ウェルネス特講※ 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ						
兼任	教授	井上勝子	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 スポーツ指導法実習 (ダンス)Ⅰ スポーツ指導法実習 (ダンス)Ⅱ スポーツ指導法実習 (バレーボール) レクリエーション指導法実習A キッズスポーツ指導法実習 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
兼任	教授	山崎史郎	平成21年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 発達心理学						
兼任	教授	守弘仁志	平成21年4月	社会調査Ⅰ 社会学概論Ⅰ 社会学概論Ⅱ 情報メディア論Ⅰ 情報メディア論Ⅱ						
兼任	教授	小川全夫	平成22年4月	高齢者福祉論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅱ						
兼任	教授	東 俊裕	平成22年4月	障害児・者福祉論Ⅰ 障害児・者福祉論Ⅱ 障害者と法						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	堀 正嗣	平成 23 年 4 月	ソーシャルワーク方法論Ⅳ						
兼任	教授	河野正輝	平成 23 年 4 月	社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ						
兼任	教授	花田昌宜	平成 22 年 4 月	就労支援論 水俣学 ハンセン病講義 社会政策Ⅰ 社会政策Ⅱ 現代の福祉国家						
兼任	教授	大江正昭	平成 21 年 4 月	日本国憲法 憲法Ⅰ(統治論) 憲法Ⅱ(人権論) 市民と政治						
兼任	教授	山本尚友	平成 21 年 4 月	日本社会福祉史Ⅰ 日本社会福祉史Ⅱ 部落解放論Ⅰ 部落解放論Ⅱ						
兼任	教授	大野哲夫	平成 22 年 4 月	ハンセン病講義 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ						
兼任	教授	佐藤勇治	平成 23 年 4 月	日本事情特講						
兼任	教授	中野裕治	平成 23 年 4 月	日本事情特講						
兼任	教授	赤井恵子	平成 21 年 4 月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						
兼任	教授	尾崎 勇	平成 21 年 4 月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						
兼任	教授	山中 進	平成 21 年 4 月	地理学概論Ⅰ 地理学概論Ⅱ 日本事情ⅠA						
兼任	教授	坂口 潮	平成 21 年 4 月	自然科学と人間ⅡA(化学) 自然科学と人間ⅡB(化学) 日本事情ⅢA						
兼任	教授	田中 均	平成 22 年 4 月	芸術と表現Ⅰ 芸術と表現Ⅱ						
兼任	教授	篠塚敏生	平成 22 年 4 月	西洋史概論Ⅰ 西洋史概論Ⅱ						
兼任	教授	伊藤良高	平成 23 年 4 月	現代教育論Ⅰ 現代教育論Ⅱ						
兼任	教授	原田正純	平成 23 年 4 月	環境論ⅡA(環境と人間社会) 環境論ⅡB(環境と人間社会)						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	西園寺明治	平成21年4月	英語ⅡA 英語ⅡB						
兼担	教授	太田丈太郎	平成21年4月	ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB ロシア語ⅢA ロシア語ⅢB ロシア語ⅣA ロシア語ⅣB						
兼担	教授	岡村 一	平成21年4月	スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅢA スペイン語ⅢB スペイン語ⅣA スペイン語ⅣB					スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB	田代クリスティーナ兼任講師の 就任辞退に伴い、 担当科目を追加(21)
兼担	教授	原口行雄	平成22年4月	英語ⅢA 英語ⅢB						
兼担	教授	木下隆雄	平成22年4月	英語ⅣA 英語ⅣB						
兼担	准教授	黒木邦弘	平成22年4月	ソーシャルワーク方法論Ⅰ ソーシャルワーク方法論Ⅱ						
兼担	准教授	山西裕美	平成22年4月	家族援助論 家族社会学Ⅰ 家族社会学Ⅱ 社会調査Ⅱ						
兼担	准教授	高林秀明	平成21年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ ソーシャルワーク方法論Ⅲ ボランティア論						
兼担	准教授	高倉統一	平成21年4月	法学 社会福祉法制Ⅰ 社会福祉法制Ⅱ						
兼担	准教授	陳 宇澄	平成22年4月	民法Ⅰ 民法Ⅱ 家族と法						
兼担	准教授	吉津晶子	平成22年4月	芸術療法入門						
兼担	准教授	小城義也	平成23年4月	日本事情特講						
兼担	准教授	筒井久美子	平成23年4月	日本事情特講						
兼担	准教授	Joseph George Tomei	平成23年4月	日本事情特講						
兼担	准教授	土井文博	平成21年4月	日本事情特講 日本事情ⅡA						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	Kirk Masden	平成23年4月	日本事情特講						
兼任	准教授	相藤絹代	平成22年4月	ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ						
兼任	准教授	和田 要	平成23年4月	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ						
兼任	准教授	杉本 学	平成21年4月	部落解放論Ⅰ 部落解放論Ⅱ						
兼任	准教授	川田亮一	平成21年4月	文章論 (作文、レポート、論文、新聞) 言語と文化Ⅰ 言語と文化Ⅱ						
兼任	准教授	隈井泰樹	平成21年4月	自然科学と人間ⅠA(物理学) 自然科学と人間ⅠB(物理学) 日本事情ⅢA						
兼任	准教授	小川弘和	平成22年4月	日本史概論Ⅰ 日本史概論Ⅱ						
兼任	准教授	長友敬一	平成23年4月	倫理学概論Ⅰ 倫理学概論Ⅱ						
兼任	准教授	萩原修子	平成23年4月	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ						
兼任	准教授	吉川勝正	平成21年4月	英語ⅡA 英語ⅡB						
兼任	准教授	八木昭臣	平成21年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅣB						
兼任	准教授	佐藤正年	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	中村俊也	平成22年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 福祉管理運営論						
兼任	講師	出川聖尚子	平成22年4月	児童福祉論Ⅰ 児童福祉論Ⅱ						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中敷領孝能	平成21年4月	統計学						
兼任	講師	吉永心一	平成21年4月	日本事情ⅡA						
兼任	講師	上村宏一郎	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	玉垣 均	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 リハビリテーション論						
兼任	講師	東 利雄	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論						
兼任	講師	山本行文	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 アダプティッド・スポーツ実技						
兼任	講師	渡辺充伸	平成21年4月	アダプティッド・スポーツ論 救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野隆雄	平成21年4月	衛生学（公衆衛生学を含む）						
兼任	講師	大森久光	平成21年4月	医学一般Ⅰ						
兼任	講師	土亀直俊	平成21年4月	医学一般Ⅱ						
兼任	講師	富口静二	平成21年4月	医学一般Ⅱ						
兼任	講師	佐藤正弘	平成22年4月	ヘルスアンドウェルネス						
兼任	講師	丸谷浩介	平成22年4月	公的扶助論						
兼任	講師	唐津邦利	平成21年4月	測定評価 スポーツ指導法実習 (器械運動) 健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						
兼任	講師	加来克幸	平成23年4月	医療福祉論						
兼任	講師	福島正剛	平成23年4月	福祉行財政論						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	鴻江圭子	平成23年4月	福祉管理運営論						
兼任	講師	砂川真澄	平成23年4月	司法福祉論						
兼任	講師	紫藤千子	平成23年4月	権利擁護と成年後見制度						
兼任	講師	熊川嘉一郎	平成23年4月	就労支援論						
兼任	講師	高木昭宏	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	原 三郎	平成23年4月	救急処置と運動負荷試験						
兼任	講師	北野直子	平成23年4月	栄養学						
兼任	講師	古賀由紀子	平成23年4月	学校保健						
兼任	講師	磯谷明德	平成21年4月	経済学Ⅱ						
兼任	講師	小野真理子	平成21年4月	手話Ⅰ 手話Ⅱ 手話Ⅲ 手話Ⅳ						
兼任	講師	松永 朗	平成21年4月	手話Ⅰ 手話Ⅱ 手話Ⅲ 手話Ⅳ						
兼任	講師	森岡秀幸	平成21年4月	点字Ⅰ 点字Ⅱ						
兼任	講師	松野了二	平成21年4月	情報処理入門						
兼任	講師	鈴木桂樹	平成23年4月	現代行政論						
兼任	講師	平野裕二	平成23年4月	国際福祉論						
兼任	講師	奥山幸男	平成21年4月	スポーツ指導法実習 (陸上競技)Ⅰ スポーツ指導法実習 (陸上競技)Ⅱ						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田中邦子	平成22年4月	レクリエーション指導法実習A						
兼任	講師	丸山定巳	平成23年4月	地域社会学Ⅰ 地域社会学Ⅱ						
兼任	講師	小園敏幸	平成21年4月	英語ⅠA 英語ⅠB						
兼任	講師	山田章則	平成21年4月	英語ⅠA 英語ⅠB						
兼任	講師	大熊敏子	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	濱田 明	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	Ferrero Yves Pierre	平成21年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB フランス語ⅣA フランス語ⅣB						
兼任	講師	堀江智子	平成21年4月	中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅢA 中国語ⅢB						
兼任	講師	伊禮智香子	平成21年4月	中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅣA 中国語ⅣB						
兼任	講師	田代クリスティーナ	平成21年4月	スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB						就任辞退(21) 岡村一兼任教授が科目を追加して担当するため、 支障はない。
兼任	講師	朴 永奎	平成21年4月	韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅢA 韓国語ⅢB	兼任	准教授				本学外国語学部に就任 (21)
兼任	講師	佐々木正徳	平成21年4月	韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	兼任	講師	松岡雄太 (30)	平成21年4月	韓国語ⅡA 韓国語ⅡB	就任辞退(21)
兼任	講師	田中節子	平成22年4月	韓国語ⅣA 韓国語ⅣB						
兼任	講師	則元志郎	平成21年4月	健康科学BⅠ(実技) 健康科学BⅡ(実技)						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	馬場良二	平成21年4月	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅢA 日本語ⅢB						
兼任	講師	松本妙子	平成21年4月	日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅣA 日本語ⅣB						
兼任	講師	牧野洋一	平成21年4月	日本事情ⅠA						
兼任	講師	Jeffry Joseph Gayman	平成21年4月	日本事情ⅡB						
兼任	講師	浦本裕之	平成21年4月	日本事情ⅢB						

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (9)	0 (0)	7 [0]	2 [0]	1 [0]	0 [0]	9 [0]	0 [0]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
		該当なし	

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、設置届出書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 3 辞任者は「備考」欄に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- 4 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 5 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。
- 6 「(2) 教員数」の「届出時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：△1)
- 7 「(3) 専任教員辞任等の理由」欄には、届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 8 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 その他全般的事項

<社会福祉学部第一部 ライフ・ウェルネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○教員組織の編成</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>49名</u> 兼任教員： <u>55名</u></p>	<p>記載誤りにより修正</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>55名</u> 兼任教員： <u>49名</u></p> <p>さらに、平成 21 年度は授業科目担当教員の変更等により次のとおりとなる。</p> <p>専任教員： 10名 兼任教員： <u>56名</u> 兼任教員： <u>47名</u></p>
<p>○学生確保の見通し（入学者の選考）</p> <p>入学定員 80 名の内訳は、一般入試 40 名、推薦入試 40 名とする。</p> <p>①一般入試（40 名）</p> <p>一般入試においては、高等学校卒業・卒業見込者であれば受験できる。受験者の学力を見極めることを目的として、国語、選択科目、外国語の試験を実施する。</p> <p>②推薦入試（40 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校制による推薦入試（25 名） 書類審査と小論文で総合的に評価する。 ・公募制による<u>推薦入試</u>（5 名） 書類審査と小論文、英語（筆記）による選抜試験を実施する。 ・スポーツ推薦入試（<u>10名</u>） 書類審査と面接、<u>スポーツ・テスト</u>を実施する。 	<p>平成 22 年度以降の学生募集について、②推薦入試を次のとおり変更する。</p> <p>②推薦入試（40 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校制による推薦入試（25 名） 書類審査と小論文で総合的に評価する。 ・公募制による<u>一般推薦入試</u>（5 名） 書類審査と小論文、英語（筆記）による選抜試験を実施する。 ・<u>公募制による自己推薦入試（5 名）</u> <u>書類審査と面接を実施する。</u> ・スポーツ推薦入試（5 名） 書類審査と面接を実施する。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ①全学的な取り組みとして、熊本学園大学FD委員会を設置（平成20年2月）〈別紙規程を参照〉
 - ②ライフ・ウェルネス学科準備会議（平成20年11月～平成21年3月）
 - ③ライフ・ウェルネス学科会議（平成21年4月）
- ※今後は学科内にFD等の委員会を設置し、定期的に協議していきたい。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ①年に数回開催している。ほぼ全員が参加
- ②本学科開設までに数回開催した。構成メンバー全員が毎回出席した。
- ③本学科所属の専任教員全員が出席し、毎月1～2回開催している。今後はFD活動等について、全員参加の独立した取り組みとして検討する。

c 委員会の審議事項等

- ライフ・ウェルネス学科会議における審議事項
- ・授業方法の検討
 - ・オムニバス授業における教員の連携
 - ・フィールド学習の実施および教育効果について

② 実施状況

a 実施内容

現時点で実施している取り組みは次のとおりである。

- ①授業方法についての研究
- ②オムニバス授業における教員の連携
- ③授業評価アンケート

b 実施方法

①授業方法の検討

学科会議において「基礎演習」「ライフ・ウェルネス入門」の授業の進め方について、特別講演者の選定、フィールド学習におけるデジタルカメラによる情報の保存と編集の仕方、学生によるフィールド報告書の作成方法、成績の評価方法等を議題として取り上げ、参加者の自由討議により、より効果的な教育方法を協議した。

②オムニバス授業における教員の連携

学科会議において、オムニバス授業をいかに展開すべきかについて、参加者の自由討議に基づいて協議している。ゲスト講義を実施する場合は、かならず学部のメーリングリストに広告し、オムニバス授業を担当する教員の参観・聴講を促すようにしている。

③授業評価アンケート

本学の「授業評価制度委員会」の指示に従い、アンケートによる「学生による授業評価」を、開講中のすべての講義科目について実施している。平成21年度は6月22日～7月4日に実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①、②、③はいずれも授業科目担当者全員が対象である。すべての項目について、全員参加型の会議で協議しており、教員の参加状況はおおむね良好である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業改善のための具体的な取り組みは、本年度の開講授業の結果状況を踏まえて、次年度から実施していきたい。
- ・個人の担当する授業についても、授業の内容や方法を改善し、よりよい授業を実現するための方策について、本格的なFD等の委員会で検討していきたい。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会福祉学と保健体育学の融合のもとに、地域や社会の総合的な「健康づくり」に貢献する人材の育成を目指したライフ・ウェルネス学科を平成 21 年 4 月に開設した。

まず教育面について言えば、新入生の導入部教育である「ライフ・ウェルネス入門」において、健康づくりの今日的課題や具体的取り組みを学びつつ、学科の教育に順応していくことを目標とする「フレッシュマン・キャンプ」として、今年度は「国立阿蘇青少年交流の家」ならびに阿蘇市坂梨地区を研修地として実施した。「国立阿蘇青少年交流の家」では担当者より当該施設の活動の意義等について説明を受け、また阿蘇の地域医療に従事する医師による、過疎地域での住民の健康管理について講演を聞いた。坂梨では、地区の町おこしを地元の人たちによる案内や学生との意見交換会を通じて体験した。さらに別の教育の機会として、優れたスポーツ能力を生かした地域活性化ならびに青少年の人材育成の象徴的モデル事業として、「ライフ・ウェルネス学科開設記念健康スポーツフォーラム 2009」を開催し、元オリンピック日本代表選手の宗茂氏を招いて、公開講演と実技指導を実施した。熊本市内外から高校生や市民あわせて 200 名以上の参加者があり、健康スポーツフォーラムとしては学科が目指す地域貢献の一モデルを示すことができた。これらの様子については、その一部を学部ホームページに公開している。なお、今学期に開講しているその他すべての授業科目について、それぞれのシラバスにのっとり進行されている。

第二に、学科の掲げる資格のうち「健康運動指導士受験資格」については、本年 9 月の本申請に向けて、必要書類等を鋭意準備しているところである。また、養成定員を定めた「社会福祉士試験受験資格」については、進路調査、進路セミナー、レポート、面接などにより学生一人ひとりが適切な、満足のいく進路選択をおこなうことができるよう学科として工夫しているところである。その他の資格取得についても同様に目的意識をもって、自分の進路を考えるよう指導している。

最後に、本学科設置と地域ニーズに関して述べておくと、入学定員 80 名に対して入学志願者は 93 名、入学者は 79 名であった。しかしこの数字は、かならずしも本学科の設置が地域のニーズにあっていないこと表しているものではない。むしろ入試説明会での高等学校関係者の反応は力強く、平成 21 年度の学生募集については、とりわけ入試広報活動等が大幅に遅れたことが影響したと見るべきであると推測される。したがって、来年度以降は本学科への関心と理解がより浸透し、順調な学生募集状況に推移するものと予想しているところである。

以上、現在の時点に立って新学科の設置趣旨・目的達成状況を振り返るとき、おおむね順調であると評価している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成 21 年 3 月 27 日公表

b 公表方法

・大学ホームページ
・評価報告書

③ 認証評価を受ける計画

本学は、平成 17 年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。さらに、平成 21 年 3 月 12 日付けで、財団法人大学基準協会の定める「大学基準に適合している」との認定を受けた。（認定期間：平成 21 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）
次回に認証評価を受ける時期及び評価機関については、今後、学内で検討する。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 9 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.s.kumagaku.ac.jp/introduction/lw/>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・)
- b 公表予定時期 (平成21年 9 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.s.kumagaku.ac.jp/introduction/lw/>)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。